

今週の活動から



11月27日(日) J A 南毛利の農業まつりに参加。農産物品評会も行われ、市長賞を受けたショウガはほんとうに見事でした。(右: 釘丸久子議員。左: 栗山香代子議員)

11月12日、東京臨海広域防災公園を視察。防災体験学習施設では、地震や災害にあったら「72時間をどう生きるか」のシミュレーションをしました。(下: 栗山香代子議員)



単なる事業説明ではなく、議会としての議論の過程を伝えることが大切です。

しかし、決算報告の仕方をいかにわかりやすくするか、参加者を多くするには、地域にあった課題などを伝えるための準備は、などいろいろな課題が見えてきました。

4回目ということで、今までの反省を踏まえて各グループで、表示方法や資料の作成など工夫を凝らしました。パワーポイントは初めて導入されましたが、映像によって示すということは理解し易いと思います。

議会報告会をこれまで4回14会場で開催しました。平日や土・日の開催、午前、午後、夜間など時間帯を変えて実施してきました。

いろいろ見えてきた課題

環境保全のための説明会を望んでいるが、説明会は開催されていない。どんな工事の発注が行われ無力感に陥っている。議員の立場で得た文書を、市民団体、マスコミに渡し、これによって問題がより大きくなった。それを「私の提案によって市が分科会を立ち上げた」と宣伝している。自分で火を付けておいて「私が消しました」とは、笑止千万。議員の品格を疑います。子どもの気持ちをくみ取ってほしい。

◎健康こどもの森では、けがをした時などの救護所は設けるのか。
▼管理棟に設置されると思う。
◎健康こどもの森整備について陳情を出して、趣旨採択になった。議会だよりでは、陳情に全面賛成の会派が反対(●)と表記されていて、びっくりした。この方法では議員の真意が市民に正しく伝わるとは思えない。

荻野運動公園

れると731床になる。しかし、施設に入所を希望して入れない人が600人もいる。

各会場で出された質疑や回答

玉川公民館

◎玉川地域は、市街化調整区域が多く新たな住宅はなかなか建てられず、長年人口が増えない。活性化するためには人口を増やす手立てが必要だ。
▼住宅建設は法的なことがあり難しいが、観光振興など、地域の活性化を図っていきたい。

小鮎公民館

◎国民健康保険料など不納欠損が増えている。対策は。
▼なるべき払っていただき、不納欠損を少なくしていくためにコールセンターなどを設けている。
◎払いたくても払えない人もいる。そういう人に光を当てるのが政治の役割ではないか。

睦合西公民館

◎この地域に特別養護老人ホームが建設されるというが、その内容は。全体でどのくらいになるのか。

▼公民館の南側に建設される。オーブンは平成27年4月、ベッド数は100床でその他にショートトステイ用ベッドが20床。市内の特養ホームは、ここが開設される。



市内4会場で開催した議会報告会
(14日玉川公民館)

厚木市議会では、第4回議会報告会を、11月14・16日に開催しました。14日(木)には、午後7時から玉川公民館と小鮎公民館で同時開催。16日(土)には、午前10時から睦合西公民館で、また午後7時から荻野運動公園で行いました。
参加者は玉川公民館37、小鮎公民館33、睦合西公民館54、荻野運動公園は51の計175人でした。
28人の議員が4グループに分かれ、各会場7人ずつで、報告、司会、受付、記録、写真などを担当。10月7日に終了した9月議会のうち、決算の審議内容の報告や、(仮)あつぎ元気館、(仮)健康こどもの森整備計画などについて説明、その後質疑応答、意見交換が行われました。